



衣川 実介

『ステンレス鋼は磁石につくか?』

『鉄のふしぎ博物館』に来館される方はお子様から、ご高齢の方まで年齢に大きな開きがあります。最高齢の元お医者様は間もなく90才を迎えられる方でした。又、小学生から製鉄所の研究者、鉄やステンレス鋼の製造業者・販売業者、主婦など、経験や知識の幅もまちまちです。

ある時、ステンレス鋼を販売されている会社の会長さんと、次代を担う若手の営業マンが来館されました。『販売はするが、ステンレス鋼の詳しい知識は少ないので、そこを教えて頂ければ好都合です。』会長さんはそう話されました。

ご来館頂いた方でステンレス鋼に興味をお持ちの方にはいつも行う実験があります。ステンレス鋼製丸棒を二つ並べて『ステンレス鋼は磁石につきますか?』と質問します。『磁石につかない。』と回答されると、赤いシールのステンレス鋼に磁石を持って行きます。パチンとひっつきます。『ステンレス鋼は磁石につきますね!』そう言います。『磁石につく。』と回答された時には青いシールの方に、『ステンレス鋼は磁石につきませんね!』これは、ステンレス鋼と言っても磁石に強くつくものと、ほとんどつかないものがあることの確認です。次の実験はステンレス鋼製のカッターナイフです。日本製で有名な『OLFA』の『STAINLESS STEEL』と刻印された商品です。刃の部分・板バネ・枠の部分に分解して机の上に置きます。まず、バネに磁石をもって行きます。磁石につきましたね。次は刃の部分、同じくつきましたね。『問題は枠です。よく見ておいてくださいよ。だまされないように気をつけてね。』刻印のある平のところは、ほとんど磁石に反応しません。枠の角にあたる部分では少し磁石につきます。刃を保持する、薄く加工された先端部は枠をぶらさげるほど磁石につきます。『この枠は磁石につく部分とつかない所がありますが、どんな風に作られたのでしょうか?』、『磁石につくところだけ材料が違う。』、『???そんなことは無いでしょう。』、『・・・』『あなたはどう思われますか?』



主婦にはステンレス流し台の磨き方のお話をします。カッターナイフの枠の部分は磁石につきにくいステンレス鋼 (SUS304) が使われていますが、厳しい曲げ加工をした箇所は磁石に反応したり、つくようになってしまいます。この部分はサビやすくなっています。流し台も同様で、中央のポット部、四隅のコーナー部は条件が悪いのです。この、サビやすい所を丹念に磨き、平らな大きな面はゴミを取り除く程度で良いのですと話します。『いつもは平らな面を主に磨いていた。』そう言われる方が殆どです。

ステンレス鋼には性質の異なった物が何種類か有ること、それが適材適所に利用され、商品として生かされていること、最適なメンテナンスの方法まで含んだ実験なのです

『鉄のふしぎ博物館』

来て! 見て! ふれて! ふしぎ体感

鉄を見る目が変わりますよ。
ぜひお越しください。



むらの鍛冶屋®

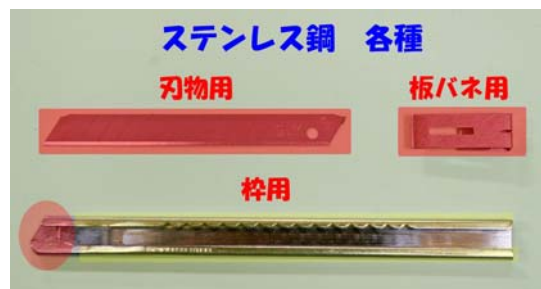


何でもお気軽にお尋ねください!

ホームページと電子メールをご利用ください。

<http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>

ryou@memenet.or.jp



磁石についたステンレス鋼 (SUS304)